

関西大学 大学昇格100年記念展示会 「真理の討究 学の実化」の記録

年史編纂室

二〇二二（令和四）年四月一日から六月三〇日まで関西大学博物館特別展示室にて関西大学 大学昇格一〇〇年記念展示会「真理の討究



展示会場入口

学の実化」を開催した。本学が一九二二（大正一一）年六月五日付で大学令による大学設立が認可され、悲願の大学昇格を果たしてから、

二〇二二年六月五日に一〇

〇年を迎えることを記念し、大学昇格一〇〇年記念事業の一環として、開催したものである。

本展示会では、大学昇格にまつわる事柄を大学昇格に尽力した山岡順太郎総理事の事績を中心に、八章に分けて資料や写真パネル、映像などを用いて解説した。また、「未来へ」と題して伝統工芸等の世界で活躍する四人の校友の作品を展



展示会場の様子

ごあいさつ

2022(令和4)年6月5日、関西大学は大学昇格100年の佳節を迎えます。

1886(明治19)年11月4日に関西法律学校として開校。1905(明治38)年からは「私立関西大学」と称していましたが、その実態は専門学校令による学校でした。

1918(大正7)年に帝国大学のほかに公立および私立大学の設立を認める大学令が公布されたのを機に、本学は大学設立(大学昇格)を目指して、積極的な募金活動を展開するとともに、千里山学会の開設や教員の確保、カリキュラムの整備などを行いました。そして、1922(大正11)年6月5日、念願の大学設立が認可されました。

記念展示会では、大学昇格に尽力した山岡順太郎総理事の事績や千里山学会の開設、学歌の制定、学生生活などを資料や写真パネル、映像で紹介いたします。本展示会が、本学の歩みを振り返る機会となりましたら幸いです。

当記念展示会の開催にあたり、貴重な資料をお貸しくださいました山岡家、阪急電鉄株式会社、公益財団法人阪急文化財団ならびに関係各位に深甚なる謝意を申し上げます。

2022年4月

関西大学博物館

【パネル】ごあいさつ

示した。以下では、展示会の内容を紹介する(展示品については、出品目録を参照)。

第一章 大学昇格運動

【パネル】大学をめざして

一九一八(大正七)年の帝国大学のほかに公立および私立大学の設置を認める大学令の公布を機に、本学は大学設立(大学昇格)を目指しました。しかし、大学昇格を果たすには組織変更、教育施設の充実とともに、供託金の納付が課題でした。資金を調達するために大阪財界の重鎮で人望の厚い山岡順太郎を会長とする関西大学拡張後援会を

設置し、募金活動を展開しました。

第二章 山岡順太郎の登場

【パネル】至孝なる人、多情多血の人

『山岡順太郎伝』の著者鹿子木彦三郎は、山岡順太郎の人柄について、「生まれつき至孝」、「多情多血」、「思慮は頗る稠密であった」、「非常に同情心に富んでいた」と評しています。

また、日記や家族宛ての手紙からは、山岡が妻や子どもとの生活を楽しみ、大事にする人であったことがわかります。

【パネル】大阪財界の重鎮

一八九八(明治三二)年、大阪商船社長に迎えられた中橋徳五郎に従い入社した山岡順太郎は、中橋を助けて大阪商船発展の基礎を築きました。その後は、大阪鉄工所や大阪住宅経営、日本電力などの社長



第1章 大学昇格運動



第2章 山岡順太郎の登場

となり、宇治川電気や大阪曹達など十数社の会社役員を兼ねました。また、一九一七〜一九二一（大正六〜一〇）年には、大阪商業会議所会頭をつとめました。

【パネル】「学の実化」の提唱

山岡順太郎は、一九二〇（大正九）年に本学理事柿崎欽吾の推薦により評議員となり、一九三二（大正二一）年には総理事に選任されました。

山岡は、千里山学舎建設、大学昇格などの大事業を遂行したことから、本学の中興の祖と呼ばれています。また、本学の学是である「学の実化」を提唱しました。

【パネル】山岡順太郎略年譜

【パネル】山岡順太郎関わった主な企業

第三章 千里山学舎の開設

【パネル】千里山キャンパスのはじまり

関西大学は、大学昇格を目指して、自然豊かな千里山に学舎を開設しました。予科校舎は、一九二二（大正一一）年の昇格時に唯一完成していた校舎で、その後、大運動場、クラブハウス、大学本館、図書館を建設し、教育環境を整えていきました。とくに大運動場は東洋第一と称されました。

第四章 千里線と沿線開発

【パネル】千里線の歴史

阪急千里線の歴史は、一九二一（大正一〇）年、北大阪電鉄が十三ヶ豊津区間を開業したことに始まりまゝです。その後、新京阪鉄道、京



第3章 千里山学舎の開設



第3章 千里山学舎の開設
昭和時代初期の千里山学舎模型

阪電鉄、京阪神急行電鉄を経て、阪急電鉄に受け継がれています。

一九二二（大正一一）年に「大学前」駅が設置され、一九六四（昭和三九）年には「大学前」駅と「花壇町」駅を統合し、「関大前」駅に改名され、関西大学に通学する多くの学生に利用されています。

【パネル】郊外生活の理想郷

千里山住宅地



第4章 千里線の沿線開発 千里山開発記念碑

一九二〇（大正九）年に設立された大阪住宅経営株式会社は、イギリスの田園都市レッチワースを参考にして千里山で住宅地開発を行いました。これが千里山住宅地です。千里山住宅地には、当時先進的な設備であった電気やガス、下水道があり、住民が親睦を図れるように会館やテニスコートなども設けられました。

【パネル】千里山花壇（千里山遊園）

千里山花壇は、一九二一（大正一〇）年に北大阪電鉄が開業した遊園地で、現在の第三学舎、関西大学第一高等学校・中学校、幼稚園にかけての場所にあります。一九二三（大正一二）年に経営が新京阪鉄道に移ると、飛行塔などの新たな施設が整備され、一九三八（昭和一二）年には千里山遊園に改称されました。一九五〇（昭和二五）年五月に閉園した後、跡地はキリスト教系の女学校が取得しましたが、同年一〇月に本学が譲り受けて現在にいたります。

第五章 学歌の制定

【パネル】大学校歌 三大名曲の一つ

大学昇格を契機に、新たな校歌を求める声が高まりました。そこで、大学首脳陣は作詞を服部嘉香に依頼し、「真理の討究」と「人格の陶冶」の二つの理念を込めるように要請しました。服部の案をもとに山岡、宮島も加わり三名で協議・検討を重ねました。

こうして誕生した本学学歌は、早稲田大学、明治大学の校歌と並んで三大名曲と称されています。

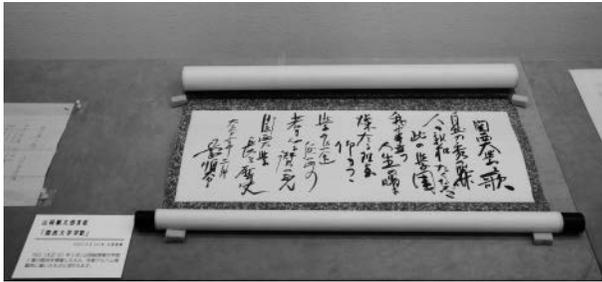
【パネル】学歌制定に関わった人びと

第六章 開かれた大学

【パネル】学理と実際との調和

山岡総理事は、学理と実際との調和をテーマに「学の実化講座」を開設しました。講師に各界の第一線で活躍する著名人を招聘し、学生が実際の知識を取り入れることを目指しました。また、ユニバーシティ・エクステンションとして、社会人向けに「夏期語学講習会」や「日曜自由講座」を設けて知識を広く開放しました。

【パネル】学の実化講座



第5章 学歌の制定
山岡順太郎揮毫掛軸「関西大学学歌」



第6章 開かれた大学 芳名録

第七章 学生生活

【パネル】一〇〇年前の関大生

学生は、学業に励む一方、学校行事や課外活動にも積極的に取り組みました。なかでも本学が最初にその名称を採用したとされる「大学祭」は、市民も楽しみにする関大名物であり、学生らは大いにその実行に情熱をそそぎました。

第一回大学祭は、一九二六（大正一五）年一月二三、二四日、大運動場の開場式と創立四〇周年記念式、昇格記念式と同時に挙行され、記念講演会をはじめ、運動競技会など多彩な行事が開催されました。



第7章 学生生活

第八章 課外活動

【パネル】熱と意気を原動力に

大学昇格以降、本学では、スポーツ、文芸共に新しい分野の開拓が進みました。

一九二三（大正一二）年、学生団体の千里山学会が発足しました。当初から学友会公認のクラブは、相撲部、野球部、庭球部、陸上競技部、サッカー部、ラグビー部、武術部、ボクシング部、弁論部、雑誌部でした。

課外活動に熱心に取り組むクラブ、研究会、同好会の活躍は、本学の名を世間に広めることにもつながりました。



第8章 課外活動

未来へ

【パネル】 伝統を拓く

関西大学が千里山に学舎を開設してから一〇〇年となります。

ここ千里山で学び、巣立っていった多くの校友の中から、伝統の世界に身を置き、技を拓き、その継承に精進を重ねてこられた方々を紹介します。

映像

関西大学が所蔵する映像に解説を加えて、展示会場のモニターで上映した。

・昭和初期の関西大学 ①千里山学舎

一九二八〜一九三一（昭和三〜六）年ごろまでの間に撮影された千里山学舎の映像。

・昭和初期の関西大学 ②天六学舎

一九二九〜一九三五（昭和四〜一〇）年ごろまでの間に撮影された天六学舎の映像。



未来へ

・運動競技

昭和初期に撮影されたラグビー、相撲、卓球、陸上競技、柔道、馬術、スキー、漕艇、野球の映像。

・北村兼子SPレコード『怪貞操』

本学最初の女子学生である北村兼子が自著『怪貞操』を朗読したSPレコード『怪貞操』が発見された。SPレコード『怪貞操』に収められた北村の肉声を公開するとともに、北村を紹介した映像。

・今も残る村野藤吾の建築
一九四〇年後半から約三〇年にわたって、村野藤吾は千里山キャンパスの学舎の設計を担った。キャンパス内に現存する村野の設計による建物を紹介した映像。



北村兼子SPレコード『怪貞操』視聴コーナー

（年史編纂室 佐藤健太郎）

関西大学 大学昇格100年記念展示会「真理の討究 学の実化」出品目録

会期：2022（令和4）年4月1日～6月30日 関西大学博物館 特別展示室

資料名	所蔵者	年代
第1章 大学昇格運動		
山岡順太郎寿像	個人	1920年
決議録	関西大学	1898～1919年
大学設立認可申請書 副本	関西大学年史編纂室	1921～1922年
関西大学拡張新計画概要	関西大学年史編纂室	1921年
第2章 山岡順太郎の登場		
山岡順太郎伝	関西大学年史編纂室	1929年
加賀国第十区小一区副戸長辞令	個人	1873年
山岡順太郎揮毫色紙「吞舟之魚不游枝流」	個人	1927年
呑洲書屋日記	個人	1893～1894年
山岡順太郎より子ども宛絵葉書3点	個人	1913年
家族とともに〔写真パネル〕	個人	時期不明
ポスター「天下の楽土 別府温泉」〔写真パネル〕	個人	1924年
執務室にて〔写真パネル〕	個人	時期不明
山岡順太郎宛絵葉書4点（大阪商船 紅丸など）	個人	1917年など
大阪商業会議所申請役員認可書写	個人	1917年
山岡順太郎揮毫掛軸「有電源而有産業」	個人	時期不明
清浦奎吾より山岡順太郎宛書簡	個人	1918年
宮島綱男、垂水善太郎より山岡順太郎宛電報	個人	1922年
千里山学報 第2号（昇格記念号）	関西大学年史編纂室	1922年
山岡順太郎揮毫掛軸「真理の討究 学の実化」	関西大学年史編纂室	時期不明
理事会〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1922年
山岡総理事之印	個人	時期不明
関西大学学生及生徒乗車賃二関スル覚書	関西大学年史編纂室	1922年
第3章 千里山学舎の開設		
扁額「威徳」	関西大学年史編纂室	1937年
威徳館移築記念写真帖	関西大学年史編纂室	1932～1937年
レリーフ「海の幸」	関西大学年史編纂室	1927年
レリーフ「海の幸」作者 大国貞蔵〔写真パネル〕	個人	1927年
教育勅語渙発40年記念式〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1930年
1921年専門部卒業アルバム（千里山）	関西大学年史編纂室	1921年
千里山学報 創刊号	関西大学年史編纂室	1922年
千里山学報 第5号（関西大学千里山校舎設計略図）	関西大学年史編纂室	1922年
1922年専門部卒業アルバム（関西大学新校舎設計図）	関西大学年史編纂室	1922年
昭和時代初期の千里山学舎模型	関西大学環境都市工学 部建築学科建築意匠研 究室制作	2022年
千里山学舎〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1928年
千里山キャンパス〔写真パネル〕	関西大学	2016年
千里山学舎構内要図	関西大学年史編纂室	1927年
絵葉書6点（予科校舎、大学本館、クラブハウス、図書館、グラウンドなど）	関西大学年史編纂室	昭和時代前期
御大札御造営工事記念写真帖〔写真パネル〕	国立国会図書館	1929年
写真帖	関西大学年史編纂室	昭和時代初期

資料名	所蔵者	年代
千里寺本堂〔写真パネル〕	個人	現代
第4章 千里線と沿線開発		
阪急千里線開業100周年記念ヘッドマーク	阪急電鉄	2021年
阪急千里線開業100周年記念ヘッドマークを掲出した列車〔写真パネル〕	個人	2021年
北大阪電鉄1形電車〔写真パネル〕	阪急電鉄	時期不明
沿線御案内	関西大学年史編纂室	昭和時代初期
北大阪電気鉄道時代の絵地図（千里山の春色）〔写真パネル〕	阪急文化財団池田文庫	1922年
大学前駅〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1923年ごろ
大学前駅〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1933年ごろ
大阪住宅経営株式会社チラシ	個人	1923年ごろ
千里山住宅地平面図	個人	1924年ごろ
千里山住宅案内	個人	1925年
千里山開発記念碑	個人	1928年
千里山開発記念碑〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	現代
千里山住宅地〔写真パネル〕	個人	昭和時代初期
1935年頃千里山駅（現西改札口）写真〔写真パネル〕	阪急文化財団池田文庫	1935年ごろ
2倍に広がった千里山花壇 お子達の遊園地（千里山花壇俯瞰図）	関西大学年史編纂室	昭和時代初期
絵葉書2点（千里山遊園内飛行塔、池）	関西大学年史編纂室	1928年
第5章 学歌の制定		
関西大学学歌歌詞案（服部嘉香より山岡順太郎宛書簡封入）	個人	1922年
山岡順太郎揮毫掛軸「関西大学学歌」	個人	1923年
関西大学校歌譜面（複製）	関西大学年史編纂室 （原本 明治学院大学図書館付属遠山一行記念日本近代音楽館所蔵）	1922年
SPレコード「関西大学学歌」	個人	1924年
第6章 開かれた大学		
第1回学の実化講座講師 ポール・クローデル〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1922年
芳名録（ポール・クローデル揮毫箇所）〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1922年
第13回学の実化講座講師 犬養毅〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1923年
芳名録（犬養毅揮毫箇所）	関西大学年史編纂室	1923年
竹垞硯	関西大学博物館	17～18世紀初頭
第1回関西大学夏期語学講習会修了証書	個人	1923年
第1回関西大学夏期語学講習会参加者〔写真パネル〕	個人	1923年
第7章 学生生活		
大学令ニ拠ル関西大学学則	関西大学年史編纂室	1923年
遠藤敏雄筆記ノート（内田精一講義「WORDSWORTH研究」）	関西大学年史編纂室	1928年
社会講義要項・進度・日誌 昭和9年以前	関西大学図書館	1926～1934年
社会学講義【試験問題・成績表・日程表】 昭和10年ヨリ	関西大学図書館	1932～1950年
社会政策（岩崎卯一教授）の講義風景〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1930年ごろ
昭和11年度学部主要年中行事	関西大学年史編纂室	1936年
第1回大学祭記念品（絵葉書1点、メダル2点）	関西大学年史編纂室	1926年
第1回大学祭 大運動場入口付近〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1926年
第1回大学祭 仮装行列〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1926年
スクラップブック	関西大学年史編纂室	1925～1930年
第5回大学祭プログラム	関西大学年史編纂室	1930年

資料名	所蔵者	年代
関西大学学報 第122号 (就職に関する心得)	関西大学年史編纂室	1934年
関西大学学部第7回卒業式 代表今井憲夫答辞	関西大学年史編纂室	1931年
1934年学部卒業アルバム	関西大学年史編纂室	1934年
第8章 課外活動		
千里山 創刊号	関西大学年史編纂室	1926年
詩集 鏑朱の影	個人	1955年
千里山文学	関西大学年史編纂室	1928年
第7回大学祭英語演劇「アブラハム・リンカーン」プログラム	関西大学年史編纂室	1932年
ひげ	個人	1926年
第17回東海学生相撲大会優勝杯	関西大学年史編纂室	1926年
相撲部 竹田繁七〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1925年
第3回関西大学法政大学対抗陸上競技大会メダル	関西大学年史編纂室	1926年
第1回関西大学法政大学対抗陸上競技大会参加者〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1924年
旗	関西大学	1933年
陸上部 大島鎌吉 ロサンゼルスオリンピック三段跳第3位〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1932年
野球部 第1次ハワイ遠征スクラップブック	関西大学年史編纂室	1933年
野球部 第1次ハワイ遠征ポスター	関西大学年史編纂室	1933年
野球部 第1次ハワイ遠征参加者〔写真パネル〕	関西大学年史編纂室	1933年
未来へ		
安田公子 色被切子杯4点、色被硝子切子盃「波花盃」、被硝子切子花器「湧昇」	関西大学博物館	現代
角谷與斎 唐銅 船形花入、南鐐 扇面蓋置、南鐐 薔薇蓋置、裏千家15代鵬雲齋大宗匠お好み雲龍小釜、雲龍小釜風炉	個人	現代
河内國平 太刀・拵え一式	関西大学博物館	現代
糸見溪南 書「人」	関西大学年史編纂室	現代